

News Release

2019年5月31日

学校法人エービーシー学苑
株式会社コドモン
NTT東日本 福島支店

ICT サービスによる幼保施設業務の負担軽減への新たな取り組みについて ～保育の品質や安全性を高め、園の高付加価値化の実現へ～

NTT東日本福島支店(支店長:山口圭介)は、学校法人エービーシー学苑(理事長:前山成子)の運営する認定こども園「さとかおかキンダーガーデン」において、株式会社コドモン(代表:小池義則)と共同で、職員の日々の業務負担軽減を目的に今年4月よりICT サービスを提供し始めました。

今後もNTT東日本では、公立・私立を問わず保育園・幼稚園・認定こども園等の幼保施設のICT化を推進し、園の働き方改革や地域社会の子育て課題解決に取り組んでまいります。

1. 背景・経緯

福島県内の待機児童数は、2018年4月時点で371名と、前年の616名から大幅に減少する一方、待機児童率は1.15%と、依然として全国平均を上回っています*。待機児童の更なる解消に向けては、保育士の確保が不可欠であり、厚生労働省は、保育士の勤務環境を改善するために、ICTの活用による間接業務の省力化を推進しています。

* 出典:「保育所等関連状況取りまとめ(平成30年4月1日)」(厚生労働省)(https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000176137_00002.html)

さとかおかキンダーガーデンは、職員26名で児童119名を預かる認定こども園です。限られた人数の職員で常に安全性に配慮しながら保育業務を行う中で、保護者との電話連絡や、日誌や連絡帳の作成、請求業務など、多岐に渡る事務作業の業務負担軽減が課題となっていました。

このような中で、認定こども園における業務の効率化や自動化を可能とする、子育て施設業務支援システム「CoDMON(コドモン)」(以下、CoDMON)を導入するに至り、業務負担軽減に取り組むこととしました。

2. 本取り組みの概要

(1) 主な役割と提供イメージ

＜株式会社コドモン＞

子育て施設業務支援システム「CoDMON」の提供

＜NTT東日本 福島支店＞

「CoDMON」の利用において必要となるICT環境の整備・サービス提供(※)

※ 主な提供サービス

「インターネット回線」、及び「Wi-Fi サービス」: クラウド型サービス「CoDMON」利用のため必須条件

「セキュリティサービス」: ICT環境の整備に伴うセキュリティ対策のため提供

認定こども園 さとがおかキダーガーデン

CoDMON (子育て施設業務支援システム)



- ・ 保護者との連絡や登降園管理での活用
- ・ 保育料金請求業務での活用

効果

連絡稼働や事務処理作業削減による
業務負担の軽減



ICTサービスの提供

株式会社コドモン

- ・ CoDMONシステムの提供
- ・ CoDMON利用に関する問い合わせ対応



NTT東日本 福島支店

「CoDMON (コドモン)」の利用において
必要となるICT環境の整備・サービス提供



(2) 「CoDMON」機能概要

<基本機能>

連絡帳、園児台帳、写真販売、欠席・遅刻受付、アンケート、緊急連絡、行事予定管理、資料室、
保護者専用アプリ、午睡チェック

<オプション機能>

登降園/勤怠管理機能、指導案/帳票作成、シフト管理機能、給食サポート機能

※ 別添資料参照

(3) 認定こども園「さとがおかキダーガーデン」への提供開始日

2019年4月1日

(4) 主な利用シーン

① スマートフォンアプリを用いた保護者との連絡

これまで保護者が都度電話で行っていた、欠席・遅刻・延長等の連絡を専用アプリから瞬時に行うことができます。職員はその状況をリアルタイムで確認することができ、双方の連絡稼働を軽減します。

② タブレット端末とICカードによる児童の登園時間、及び降園時間の管理

ICカードをタブレットにかざすことで、登降園時間を自動で管理することができます。従来の手書きの管理と比べ記入の手間を削減でき、記入に伴う混雑も解消します。

③ 保護者への保育料請求に関する業務(保育料自動計算、請求書自動発行等)

登降園の時刻を自動で反映し保育料を計算できるほか、園児ごとの請求書等を発行することができます。職員の負担となっていた、請求に伴う事務処理を軽減します。

3. 利用者の声

<園職員>

- ・保護者からの連絡をアプリ経由に変更してからは、忙しい朝の時間帯に電話がほとんど鳴らなくなった。今までは、朝や夕方の電話連絡に対して 1~2 名の体制で保育士や事務員が対応していたので、その分子どもの保育に集中出来るようになったり、別の仕事をこなすことが可能となった
- ・登降園の記録と保育料の計算を手作業で行う必要がなくなったので、そのための時間が短縮された。さらに、自動計算が請求額の計算誤りの抑止につながっている点について、導入の効果を実感している
- ・PC やタブレットから、その日の登園状況(登園人数・欠席人数・遅刻者の有無等)がすぐに確認できたり、職員同士で共有できるようになったので、とても助かっている

<保護者>

- ・登園状況や園からのお知らせがアプリで通知されるため、情報を見逃すことがなく助かっている
- ・夫にもアプリをインストールしてもらったところ以前よりも子どもや園の情報が伝わるようになり、より一層育児に協力してもらえるようになった

【 参考資料 】

(写真①) 認定こども園「さとおかキンダーガーデン」



(写真②) 登降園打刻用タブレット



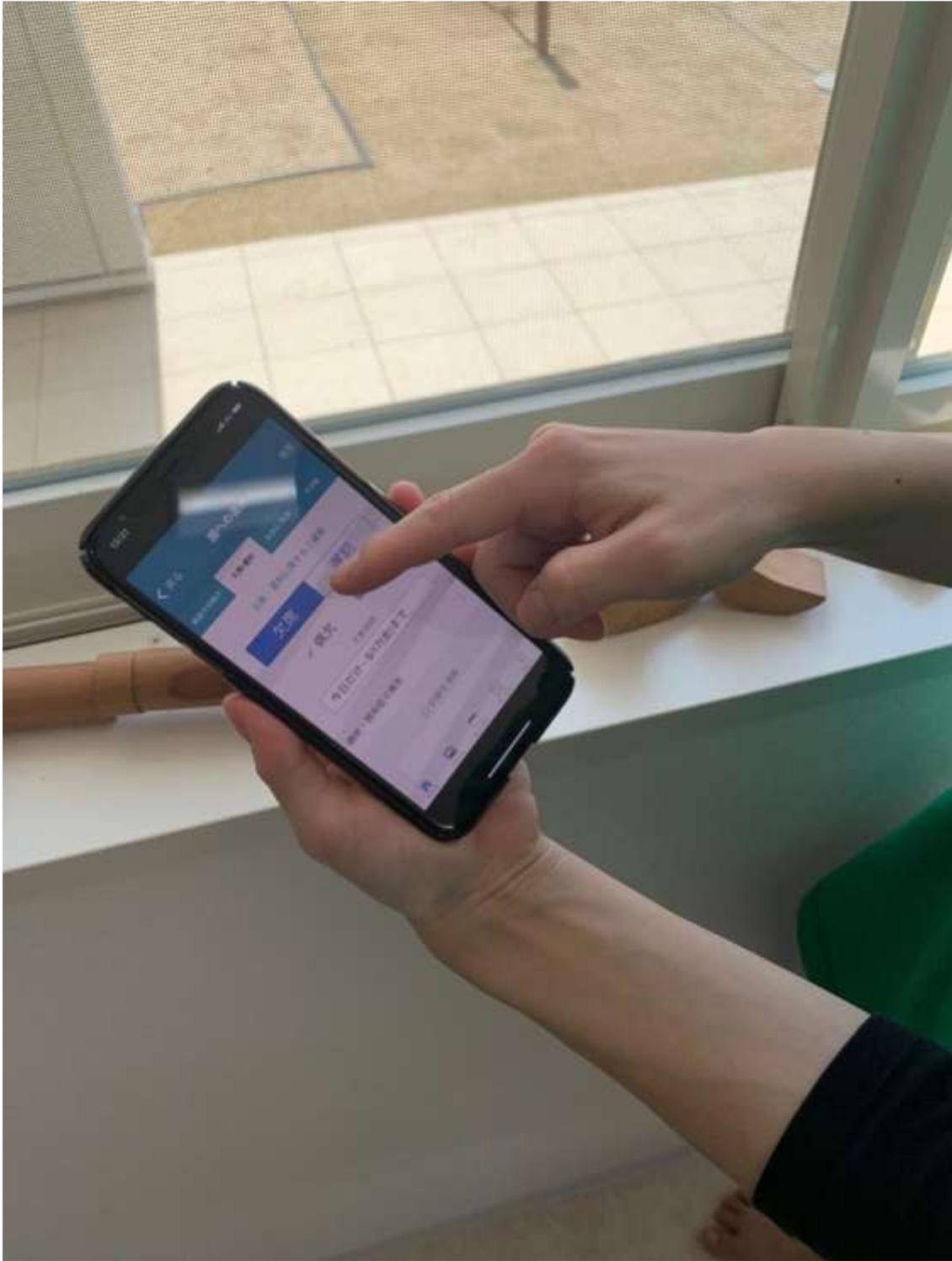
(写真③)タブレットにICカードをタッチする様子(1) ※登園・降園時に実施



(写真④)タブレットにICカードをタッチする様子(2) ※登園・降園時に実施



(写真⑤)保護者がアプリで欠席・遅刻の連絡をしている様子



別添 子育て施設業務支援システム「CoDMON（コドモン）」サービス提供イメージ

